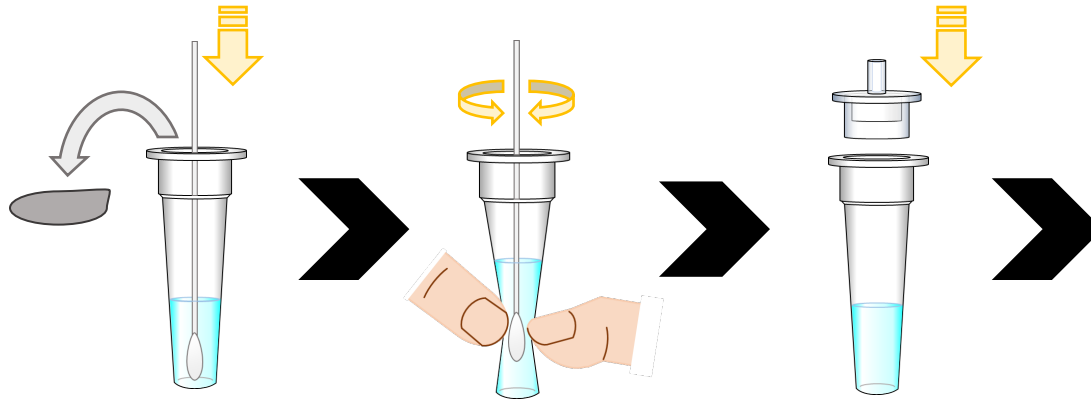


SARSコロナウイルス抗原キット イムノアロー™ SARS-CoV-2

ご使用前に、添付文書をよくお読みください。

操作方法・判定例



チューブ封シールを剥がす。
検体採取したスワブを検体希釈液
に浸す。

綿球部を指ではさみながら、
綿棒を左右に5回程度回転させ
容器にこすりつける。
綿球内の検体をしぼり出しながら、
綿棒を取り出す。

ろ過フィルターをしっかりとめ込む。

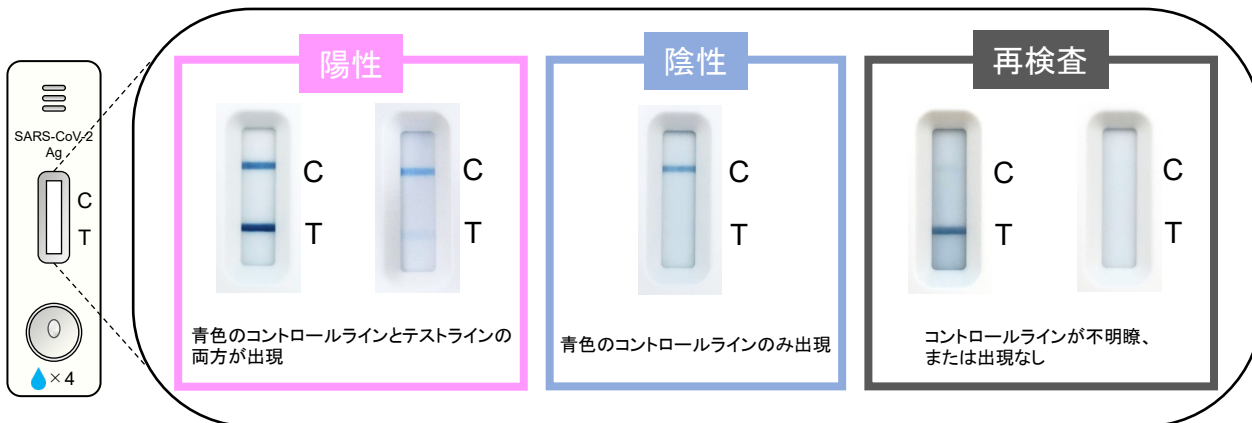
ろ過フィルターのノズル先端部を試料滴下部の直上で
ほぼ垂直になるように保持し、容器側面を指で挟んで
試料滴下部へ4滴の試料を滴下する。
15分間静置する。

4滴
滴下

15 min



テストデバイスに直接風が当たる
環境下では、付属のカバーシール
を判定部に貼り付けてください。



陽性

青色のコントロールラインとテストラインの
両方が出現

陰性

青色のコントロールラインのみ出現

再検査

コントロールラインが不明瞭、
または出現なし

判定上の注意

- 本品で判定が陰性であっても、SARS-CoV-2感染を否定するものではありません。
- 診断は、厚生労働省より発表されている医療機関・検査機関向けの最新情報を参照し、本製品による検査結果のみで行わず、臨床症状も含めて総合的に判断してください。
- 鼻腔ぬぐい液を検体とした場合、鼻咽頭ぬぐい液に比べて検出感度が低い傾向が認められているため、検体の採取に際して留意してください。
- 15分静置しても青色のテストラインが確認できない場合は、陰性と判定してください。

Q&A

Q1 唾液を測定試料とすることはできますか？

A1 できません。
鼻咽喉頭ぬぐい液または鼻腔ぬぐい液を使用してください。

Q2 ウイルス輸送培地や生理食塩水、リン酸バッファに懸濁した試料も測定可能ですか？

A2 いずれも使用可能です。
検体が懸濁されたウイルス輸送培地をキット付属の綿棒を用いて採取し、イムノアロー専用検体希釈液に再懸濁して試料としてご使用ください。ただし、混合により感度が低下する可能性があります。

Q3 検体滴下から15分経過よりも早く陽性ラインが形成された場合はどのように判断すればよいですか？

A3 15分経過以前に陽性ラインが形成された場合でも陽性判定可能です。陰性の判定は15分経過後に行ってください。

Q4 検体滴下から15分以上経過後に陽性ラインが形成された場合はどのように判断すればよいですか？

A4 陽性判定は検体滴下直後～15分経過時点で行ってください。15分判定時点では「陰性」でその後「陽性」となった場合は、「陰性」と判定してください。

Q5 コントロールラインが形成されません。何が原因でしょうか？

A5 検体粘性による展開不良、試料滴下量が多い、テストデバイス内のメンブレンの吸湿、基質パッドの切断や吸収パッドの浮きによる展開不良などが考えられます。再試験してください。



【キット構成】

内容	1セット
テストデバイス	10個
検体希釈液	5本/袋×2
ろ過フィルター	10個
滅菌綿棒	10本
スタンド	1個
カバーシール	1シート

【貯蔵方法】2～30℃

【使用期限】外装に記載しております



(製造販売元)

東洋紡株式会社

本社 〒530-8230 大阪市北区堂島浜二丁目2番8号
TEL : 06-6348-3111 FAX : 06-6348-3833
<https://www.toyobo.co.jp/>

(お問い合わせ先)

東洋紡株式会社 診断システム事業部

本社 〒530-8230 大阪市北区堂島浜二丁目2番8号
TEL : 06-6348-3335 FAX : 06-6348-3833
<https://www.toyobo.co.jp/seihin/dsg/>